

平成17年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	箇所	箇所名	市町村名	再評価理由	全体事業概要と目的	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用便益分析結果 コスト削減の可能性 代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等	
						採択年	総事業費	進捗率					事業進捗内容
							工事費	進捗率					
目標年	用地費	進捗率											
広域農道事業	1	北勢南部地区	鈴鹿市、 亀山市		<p>【全体計画概要】 道路工 L=12,638m 橋梁工 6橋</p> <p>【事業目的】 地域の農産物の生産から流通に至るまでの過程を有機的・一体的に連携するため広域営農団地として整備する中で、当地域で生産された農畜産物を効率的に市場に輸送できる基幹となる道路(通称「フラワーロード」)1.8km(内農道区間1.6km)を整備し、流通・輸送面での生産コストを低減するなど地域農業の安定と活性化を図るものです。</p>	S55	7,462	94.6%	<p>施行済み L = 12,516m 橋梁5カ所</p> <p>残工事は、東名阪自動車道の跨道橋工事と、その前後取り付け区間の法面保護、舗装及び橋梁耐震化工事を残すのみとなっています。</p> <p>L = 88m 橋梁1カ所 橋梁耐震補強工事 2カ所</p>	<p>(1)H12再評価からの全体計画の変更</p> <p>平成17年度現在、全体事業費7,462百万円(62百万円増)となっています。計画の変更内容は、橋梁の耐震化のための追加工事です。(H17年度施工)</p> <p>(2)周辺環境の変化</p> <p>亀山地域に県のクリスタルバレー構想の核となるシャープ亀山工場の稼働を始め関連企業の進出がめざましく、その輸送路としても重要な道路と位置づけられています。</p>	<p>費用便益費 B / C = 1.62</p> <p>道路工事で発生した伐採木や根株をチップ化し利用することで、法面緑化材として再利用し、780万円の縮減を図ります。</p> <p>代替案の検討 特になし</p>	<p>日本道路公団に委託し、整備を行っている跨道橋の施行に合わせて、取付部分の工事を実施し、平成18年度に事業完了する計画です。</p>	<p>審査を行った結果、事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。</p>
						H22	1,307	100.0%					

平成17年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町村名	再評価理由	全体事業概要と目的	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用便益分析結果 コスト削減の可能性 代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等	
						採択年	総事業費	進捗率					事業進捗内容
							工事費	進捗率					
目標年	用地費	進捗率											
都市公園事業	20	熊野灘臨海公園	紀伊長島町、海山町		<p>【全体事業概要】 整備面積 530.8ha (片上池)管理棟、木製デッキ、園地整備、橋梁整備(城の浜)オートキャンプ場、プール、体育館、温泉施設整備、園地整備、多田ヶ瀬園路整備 (大白)園地整備、橋梁、テニスコート、多目的広場、野球場、ソフトボール場、大白・藤ヶ谷池整備、野外学習施設</p>	S45	17,571	86.0%	<p>(片上池) 管理棟は供用済み、平成13年度より、道の駅としての機能を追加し営業を始め、利用者を増進させている。供用面積2.2ha</p> <p>(城の浜) オートキャンプ場、プール、体育館は供用済み、供用面積39.8ha</p> <p>(大白) 園路、橋梁、芝生広場、テニスコートは整備済み、テニスコートは町の運営管理により営業されている。供用面積3.5ha</p>	<p>長時間を要しているため、社会経済情勢の大きな変化や国民のレジャーやレクリエーション行動も変化してきており、これに即応した整備が望まれている。</p> <p>今回、大白地区について、平成14年度の前回再評価で継続の了承を頂いた「基本計画」の一部が、住民検討会において見直しされることが決定された。これが三重県公共事業再評価実施要綱第2条の定義である「主たる施設の新設・廃止を伴う変更」に該当するため再評価を行うものである。</p>	<p>費用便益分析結果 (片上池) B/C=2.12 (城の浜) B/C=3.79 (大白) B/C=1.99</p> <p>コスト削減 建設コスト削減については、建設残土の有効利用を図るなど一層の取り組み強化を行うとともに、今後は維持管理面でのコスト削減という課題に対し、「指定管理者制度」を導入する。適正な公園管理とともに、維持管理コスト低減に繋がるものとして期待されている。</p> <p>代替案 提案の計画は、住民の意思で決定された計画であり地域ニーズに即したものとなっている。現在の事業進捗や用地買収の状況から判断しても、この代替案は考えられず、現計画で進めることが妥当であると判断している。</p>	<p>早期の事業効果を発現するために、熊野灘臨海公園6地区のうち片上池地区、城の浜地区、大白地区の3地区を重点的、先行的整備地区として設定し、今後5箇年を目途として整備を行う。</p>	<p>審査を行った結果、20番については、前回委員会意見を踏まえた検討内容になっていないように思われた。したがって、次の点について説明できる資料の提出を待って再審議とする。</p> <p>一、熊野灘臨海公園の整備目的の明確化 一、熊野灘臨海公園の整備目的における大白地区の位置づけ 一、大白地区の公園整備にかかるコンセプト変更の客観的な理由 一、大白地区のグラウンドにかかる具体的な利用計画及び利用者年齢構成の見通し 一、地元のスポーツ施設の整備実態と今後の整備計画</p>
						H22	4,164	100.0%					

平成17年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	箇所	箇所名	市町村名	再評価理由	全体事業概要と目的	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用便益分析結果 コスト削減の可能性 代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等	
						採択年	総事業費	進捗率					事業進捗内容
							工事費	進捗率					
目標年	用地費	進捗率											
下水道事業	21	中勢沿岸流域下水道(松阪処理区)	松阪市、一志町、白山町、多気町		<p>【全体事業概要】 流域幹線管渠整備 55 km 中継ポンプ場 6箇所 流域処理場 処理能力 113,300 m<sup>3</sup>/日</p>	H2	93,600	56.6%	<p>流域幹線管渠整備 43 km 中継ポンプ場 4箇所 流域処理場 処理能力 21,850 m<sup>3</sup>/日</p>	<p>【全体計画の変更】 平成14年度の中南勢水域流域別下水道整備総合計画の見直しに従い、平成15年度に計画目標年度の延伸並びに計画諸言の変更を行っている。</p>	<p>費用便益費 B / C = 1.13</p> <p>推進工事において、長距離施行を採用することによりコスト削減を図っている。</p> <p>代替案の検討 合併浄化槽を代替案として費用効果分析を実施</p>	<p>事業の推進に伴い公共用水域の水質保全及び生活環境の改善が進み、関係市町からはなお一層の下水道事業整備の要望が高まっている。</p>	<p>審査を行った結果、事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。ただし、県に対し次の点について本年度中に説明を求めるものである。</p> <p>一、全体事業費の増額要因について 県は、前回の再評価時には、国の示す費用関数を使って処理場の建設事業費を算出していたが、今回、積み上げたところ当該費用が著しく増額となり、その理由として費用関数の要因の変化によるものとの説明があった。しかしながら、前回再評価からわずか7年しかたっていないにもかかわらず、当該費用がおおむね200億円も増額になることは、県の計画の甘さを指摘せざるを得ないものと判断される。このため、次の点について詳細な説明をされたい。 (1)費用関数の考え方とその要因が変わった点(2)処理場の既設部分と残計画部分をあわせた建設事業費内訳(3)最近のデータを使った人口推計 一、合併処理浄化槽との経済比較等について 県は、水質について三重県庁の浄化槽の実績と下水道の実績を比較して下水道の浄化能力が優れているため、将来にわたって下水道を整備する旨説明があった。しかしながら、今日では浄化槽の技術が進んでおり、将来を想像すれば、更に当該技術革新が予想される。したがって、今後は、最新技術を応用した浄化槽を基に現在の水質並びに費用を推測して下水道と比較するよう求めるものである。なお、下水道と浄化槽の比較に当たっては、下水道のメリットのみならず、デメリットも含めて説明されたい。合併処理浄化槽の設置スピードについては、他の先進的な自治体の状況を参考に県、市、町で最大限努力できる取り組みを考えるよう求めるものである。</p> <p>一、資料の作成について 今後は、人口分布や家屋等の配置が判るような図面などを添付するとともに、資料の様式や塗色を統一するなど県民にわかりやすい資料の作成に努められたい。</p>
						H51	2,000	99.0%	<p>【事業目的】 伊勢湾をはじめとする河川及び水路等の水質汚濁を防止し、併せて関係市町の生活環境の改善及び保健衛生向上を図ります。</p>				

平成17年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(市町村事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町村名	再評価の理由	全体事業概要と目的	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用便益分析結果 コスト削減の可能性 代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等	
						採択年	総事業費	進捗率					事業進捗内容
							工事費	進捗率					
							目標年	用地費					
都市公園事業	114	松阪市 総合運動公園	松阪市		【全体事業概要】 整備面積 A=52.5ha 調整池整備 芝生広場 多目的広場 展望広場 遊具広場 園路整備 駐車場整備 景観施設整備 便益施設 ジョギングコース デイキャンプ場  【事業目的】 松阪市民の運動・レクリエーションに対する要望や、環境、自然の大切さ、また高齢化社会へむけての健康維持を目的とする空間等の整備。	H8	6,310	35.2%	平成8年度から平成16年度末 用地取得面積 A=28.8ha	当初事業計画においては陸上競技場、野球場、プールなど高規格の施設を建設していく計画であったが社会経済情勢の大きな変化に伴い市の財政事情も大変厳しい状況となり、また今後高齢化社会を迎えるにあたり健康増進や健康維持を目的とし、自然環境を活かした手軽に利用できる施設整備が望まれている。	費用便益費 B/C=1.65  建設残土の有効利用を図る。 維持管理面でコスト削減につとめる。 ・地元住民による低コストの管理。 ・指定管理者制度の導入の検討。  代替案の検討 現在の用地取得の状況から現計画で進めることが妥当であると判断している。	用地取得済みである26.5haについて平成17年度より平成23年度までの7年間で施設整備を行い一部供用開始を行う。  施設整備区域外の計画については社会経済状況等の変化をふまえ、施設計画の検討を行っていく。	審査を行った結果、次の点について資料及び説明が不足していた。したがって、これを説明できる資料の提出を待って再審議とする。 一、地元自治体の公園計画における本公園と競合公園との位置関係及び利用計画上の役割 一、競合公園を含めた利用者数の見直し 一、全体計画図と比較できる今後の進捗計画図 一、周辺の道路網と進入路の関係
						H28	2,940	2.4%	平成15年度 進入道路一部整備				
下水道事業	115	松阪市関連 公共下水道 (松阪処理区)	松阪市		【全体事業概要】 管渠整備 5,084 ha (処理人口 148,470 人)  【事業目的】 三重県の流域下水道整備と整合を図り、公共用水域の水質保全と生活環境の改善を図ります。	H2	172,400	30.3%	管渠整備 1,148ha	【全体計画の変更】 中勢沿岸流域下水道(松阪処理区)計画と調整を図り平成16年度に見直しを行った。  【周辺環境の変化】 2級河川愛宕川の水質について、水洗化が進みにつれ改善され、良くなってきている。	費用便益費 B/C=1.10  管渠の最小管径、人孔間距離、人孔種別等の見直しを行い、コスト削減を図っている。  代替案の検討 合併浄化槽を代替案として費用効果分析を行っています。	事業推進の支障となるような変化はなく、事業に対する住民の理解や要望が高まっている。	審査を行った結果、事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。
						H57	-	-					

平成17年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(市町村事業)

(単位:百万円)

事業名	番	箇所名	市町村名	再評価の理由	全体事業概要と目的	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用便益分析結果 コスト削減の可能性 代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等	
						採択年	総事業費	進捗率					事業進捗内容
							工事費	進捗率					
目標年	用地費	進捗率											
下水道事業	116	一志町特定環境保全公共下水道(松阪処理区)	一志町		【事業目的】 管渠整備 488 ha (処理人口 15,020 人)  暫定処理場(～H18) 処理能力 1,200 m3/日	H 8	15,800	52.5%	管渠整備 183ha  【全体計画の変更】 流総計画の変化に伴い全体計画の変更を行っている。  【周辺環境の変化】 供用開始地区の排水路の水質が改善されている。	費用便益費 B / C = 1.19  小口径マンホールを採用し、コスト削減を図っている。  代替案の検討 合併浄化槽を代替案として費用効果分析を行っています。	事業推進の支障となるような変化はなく、事業に対する住民の理解や要望が高まっている。	審査を行った結果、事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。	
							15,780	52.5%					
					H 3 2	20	100.0%						
下水道事業	117	白山町特定環境保全公共下水道(松阪処理区)	白山町		【全体事業概要】 管渠整備 694 ha (処理人口 12,600 人)  暫定処理場(～H21) 処理能力 700 m3/日	H13	18,500	26.5%	管渠整備 109ha  【全体計画の変更】 流総計画の変化に伴い全体計画の変更を行っている。  【周辺環境の変化】 供用開始地区の排水路の水質が改善されている。	費用便益費 B / C = 1.09  小口径マンホールを採用し、コスト削減を図っている。  代替案の検討 合併浄化槽を代替案として費用効果分析を行っています。	順調に整備が進み、下水道普及にかかる住民の期待は大きい。また事業に対する住民の理解や要望が高まっている。	審査を行った結果、事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。	
							18,490	26.4%					
					H 4 5	10	100.0%						

平成17年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(市町村事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町村名	再評価の理由	全体事業概要と目的	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用便益分析結果 コスト削減の可能性 代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等	
						採択年	総事業費	進捗率					事業進捗内容
							工事費	進捗率					
目標年	用地費	進捗率											
下水道事業	118	多気町特定環境保全公共下水道(松阪処理区)	多気町		【全体事業概要】 管渠整備 404 ha (処理人口 9,320 人)	H 9	8,600	40.7%	管渠整備 133ha	【全体計画の変更】 流総計画の変化に伴い全体計画の変更を行っている。  【周辺環境の変化】 供用開始地区の排水路の水質が改善されている。	費用便益費 B / C = 1.59  小口径マンホールを採用し、コスト削減を図っている。  代替案の検討 合併浄化槽を代替案として費用効果分析を行っています。	順調に整備が進み、下水道普及にかかる住民の期待は大きい。 また事業に対する住民の理解や要望が高まっている。	審査を行った結果、事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。
							8,600	40.7%					
										【事業目的】 三重県の流域下水道整備と整合を図り、公共用水域の水質保全と生活環境の改善を図ります。	H 26	-	-

注:再評価理由

- 事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業
- 事業採択後一定期間を経過した時点で継続中の事業
- 再評価実施後一定期間が経過している事業
- 社会経済情勢の急激な変化等により再評価を実施する必要が生じた事業